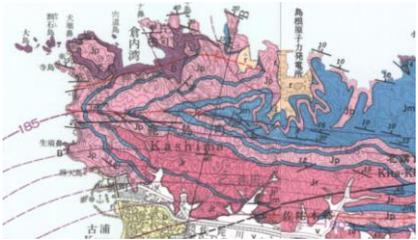


## 地質サイトカード

カードNo.	A-①-8	通しNo.	8	作成日	2025/4/28
サイト名	たゆ手結 <small>しゅうきよく</small> のスランプ褶曲				
基本情報	エリア	島根半島 探訪サイト			
	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 地質・地形	<input type="checkbox"/> 生態	<input type="checkbox"/> 文化	
	利用価値	<input checked="" type="checkbox"/> 科学	<input checked="" type="checkbox"/> 教育	<input type="checkbox"/> 観光・ツアー	
	所在地	松江市鹿島町手結			
	アクセス	松江だんだん道路川津ICから約18km、約30分。			
	周辺施設	<input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 売店 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input type="checkbox"/> 駐車場( 台 ) <input type="checkbox"/> ウォーキングコース <input type="checkbox"/> サイクリングコース <input type="checkbox"/> 観光施設( )			
	看板整備	ジオパーク解説看板1枚設置			
	留意点		位置情報	a-3	
保護・保全	法規制・関連団体等	松江市指定文化財(天然記念物)			
	保全メモ				
サイトの解説	みどころ				
	地質・地形	手結では、約1600万年前の灰白色の凝灰質礫岩・粗粒砂岩層の中に黒色頁岩層が曲がりくねってひと塊となった地層の様子が見られる。地層の特徴を保ち曲がりくねった形状はスランプ褶曲とよばれる。スランプとは、不調で何をしても上手くいかないときによく使われますが、「突然に滑り落ちる」とか「ドスンと落ち込む」のような意味もある。このことから察することができるように、この地層はまだ十分に固まっていない粘土の地層が海底の斜面を急激に滑り落ちる過程で曲がりくねってできたものである。極めて特徴的な形状の手結のスランプ褶曲は、このように元の地層の形状を残しながら柔軟に変形した地層の貴重な例といえる。			
	歴史・文化 生物・生態 等	このスランプ褶曲がある「手結の浦」は、『出雲国風土記』に記される歴史の深い浦である。日向穴、穴塩と呼ばれる忌明けのための潮汲み場があり、江戸時代に編纂された『雲陽誌』にも記載されている場所です。			
写真・図等					
参考文献	島根の地形・景観・奇岩				